

経営比較分析表（令和2年度決算）

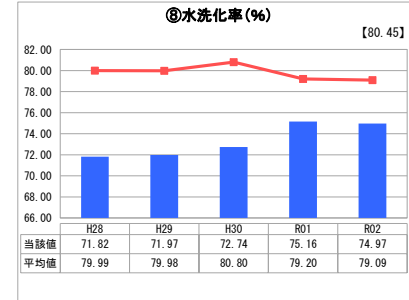
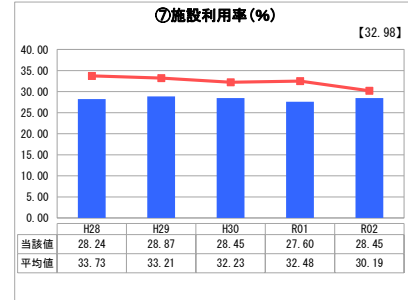
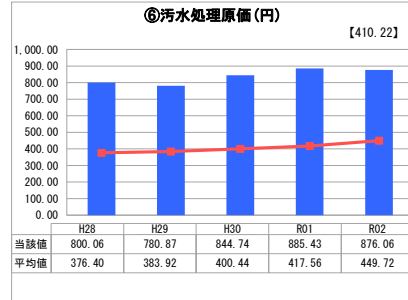
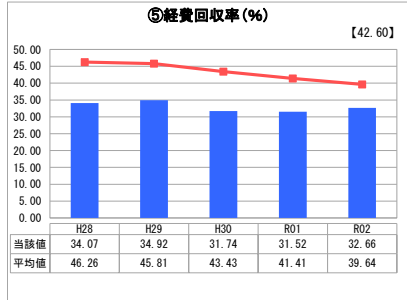
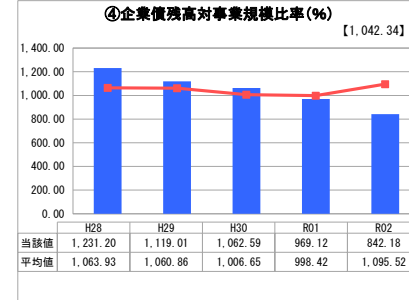
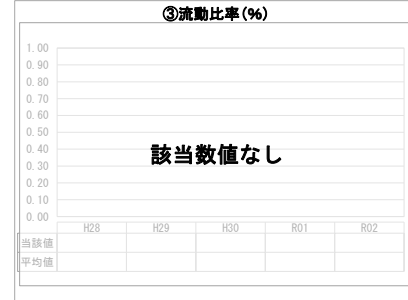
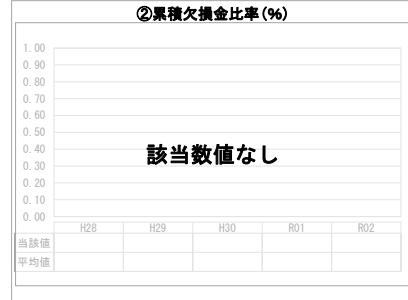
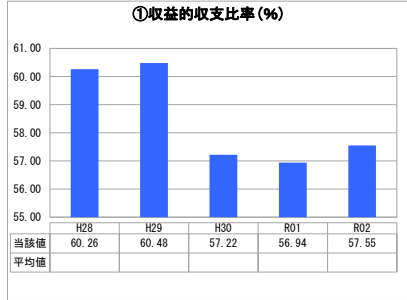
愛媛県 宇和島市

| 業種名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 漁業集落排水 | H2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 1.07 | 100.00 | 4,884 |

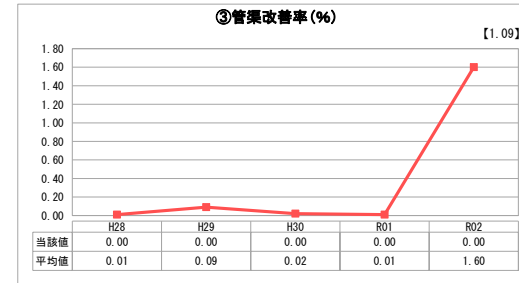
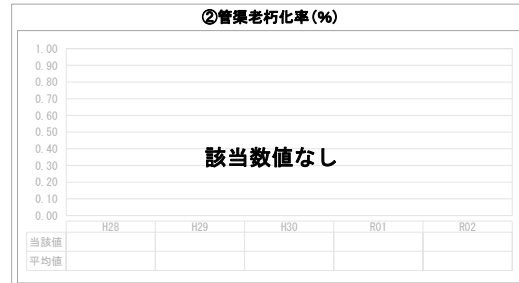
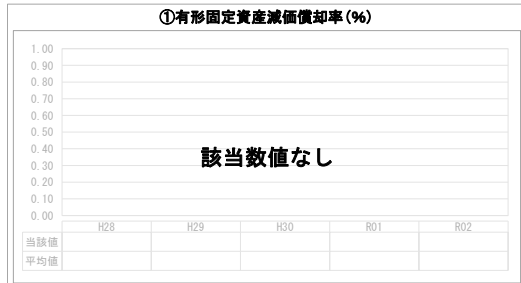
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 73,067 | 468.19 | 156.06 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 775 | 0.33 | 2,348.48 |

| グラフ凡例 |
|-----------------|
| ■ 当該団体値 (当該値) |
| — 類似団体平均値 (平均値) |
| 【】 令和2年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、使用料収入が微増したため増加となった。人口は減少しており、一時的なものであると考える。

企業債残高については、現在新規借入れを行っていないため、年々減少し、比率も低下している。しかし施設の長寿命化を目指し機能保全計画を作成したところであり、今後計画に基づき整備を進めるため、増加する見込みである。

経費回収率においては、修繕費も増加したが使用料収入がより増加したため微増となった。汚水処理原価については、処理水量にかかわらず維持管理費等については経費は必要であり、更に離島・海岸半島部という地理的要因により小規模であるため高水準となっている。

施設利用率においては、ここ数年横ばい状態が続いているが、改善するためには広域化等による効率化を図ることも選択肢ではあるが、離島・海岸半島部に点在しており、隣接する集落が近隣にはないため広域化は困難な状況である。

また、水洗化率においては、前年と同程度である。

現状では、経費のうち使用料収入で賄えない部分について、一般会計からの基準外繰入を行っている状況である。

今後の使用料金の改定予定については、現在他市と比較して高料金となっており、利用者により負担を求めるとは当面困難と考える。

2. 老朽化の状況について

各施設、供用開始から18年から24年が経過している。管渠について、法定耐用年数が経過するまでには期間があり、改修計画の見直しや大規模な修繕改修は予定していない。しかし、海岸部のため塩害等も予想されるため、適正な点検・維持管理に努める。

また、設備・機器については、機能診断を実施し長寿命化計画を作成しており、今後その計画に基づき適正な更新・改修等を随時実施する予定である。

全体総括

今後も人口減少が主な要因となり、使用料収入の減少や施設利用率の低下が懸念されている。しかし、事業の広域化、管路延伸による区域の拡大は離島・海岸半島部にてん点しているため、今後も困難な現状である。

使用料金については、1月20m³あたり津島地区が5,400円、遊子地区が4,795円と他市に比べて大変高い料金設定を導入しており、利用者により負担を求めるとは当面困難である。

また、地区住民にとっては生活環境を維持し快適な市民生活を送るために必要不可欠な施設であり、今後も安定的にサービスを提供する必要がある。今後、長寿命化計画に基づき、効率的で適正な施設の更新等を行う。

また、未接続の世帯に対しても、接続による地域環境の改善に理解を求めると普及・啓発活動の推進を行い、使用料の増収に努めるとともに、随時点検等を細かに実施することで費用発生抑制を図り、今後も更なる経費削減に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。